

「廃4」写真募集のお知らせ

永富 謙

こんな かんじに なります きっと。



廃村にぼつんと残された煉瓦構造物。以前は風呂釜でも載せていたのだろうか。ここにこれ以外の煉瓦構造物はなく、ひよっとしたら村唯一の“近代”であったかも知れない。



右見て左見て信号を見て。その必要性はよくわかる。よくわかるが、そのままを絵にすると怖い。もうちょっと工夫できなかったものか…かといって改善案も思いつかないが。



廃道にウルトラ兄弟の人形が落ちていた。赤い方はわかるのだが、青は誰だろう？ 自分よりも年上のはずの廃道に、自分の知らない新しいモノが落ちているという小さな衝撃。



みほん

あ、永富です。先月「編集部からのお知らせメール」メールでお伝えした通り『廃道をゆく4』の発行が決まりました、その製作が現在激しく進行中です。で、予告していた写真募集のテーマが決まりましたので、改めて募集します。皆様よろしくご協力ください。

募集するのは「廃道百景」という企画で使う写真です。1ページ1テーマで写真をずらずら並べてみようという謎な企画です。要するにこんなやつ、という例として「廃3」のページを載せてみました。右上の写真を拡大して見て頂戴です。

今回のテーマは「塵」「看」「煉瓦」の3つ（あ、テーマ名は全部括弧仮ですんでそこんとこヨロシク）。「塵」は、廃道や道端で見つけた変なゴミ、場違いな放棄物などなどです。「看」は交通標識以外の道に関係する看板なら何でもOK、ということになっています。奇抜なものほどこいとも知れません。最後の一つは、煉瓦で作られたものなら何でも対象です。煉瓦刻印なんか実用的でいいかも知れませんが。なお、煉瓦だけ2文字なのは何かアレなんでキツチュに「博^{セン}」とかしようかと考えてます。あ、これも括弧仮で。

我こそはという方は nagajis@the-orj.org かに送りつけてやってください（投稿ページをご利用いただいても構いません）。写真にはそれぞれ80文字の説明文（キャプション）が必要になりますが、写真採用が決まっても構いません。募集締め切りは**今月末**。採用された方には薄謝と感謝を差し上げます。